



2026 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社オカムラ食品工業
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡 村 恒 一
(コード番号: 2938 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 谷 口 耕 太
(TEL. 03-3666-2333)

当社連結子会社による泊川中間養殖場（秋田県八峰町）の完成 及び 稼働開始に関するお知らせ

当社の連結子会社である日本サーモンファーム株式会社（以下「JSF」）が秋田県山本郡八峰町において建設を進めてまいりました泊川中間養殖場が完成し、2026 年 10 月 1 日に稼働を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 国内養殖量の拡大に向けた中間養殖能力の増強

当社グループは、養殖から加工・販売までを一貫して手掛ける垂直統合型のビジネスモデルを展開しています。2025 年 2 月 14 日に公表した「中期経営目標 2030」では、国内養殖量の拡大及び海外卸売事業の拡大を二大成長エンジンと位置付けており、本養殖場の稼働は、国内養殖量の拡大に向けた取り組みの一環です。

サーモン養殖は、ふ化した稚魚を陸上の淡水環境で育成する「中間養殖」と、一定の大きさまで育った魚を海上の生簀で育成する「海面養殖」の二つの段階で行います。海面養殖量を拡大するためには、海面養殖場に移す魚を安定的に供給できる中間養殖能力の確保が必要です。このため、当社グループは、国内における中間養殖能力の拡大を重要な取り組みの一つとして推進しています。

泊川中間養殖場は、国内における中間養殖能力の拡大に向けて JSF が建設した施設であり、JSF が自ら保有・運営する中間養殖場としては青森県外で初めての施設です。JSF は現在、青森県深浦町及び今別町に中間養殖場を保有しており、本養殖場の稼働により、当社グループの中間養殖における生産能力が拡大します。

▼ 国内サーモン養殖の流れについて

<https://www.okamurashokuhin.co.jp/business/aquaculture/flow/>

2. 泊川中間養殖場の概要

名称	泊川中間養殖場
所在地	秋田県山本郡八峰町八森字新浜田
運営	日本サーモンファーム株式会社（当社連結子会社）
用水	河川水
生産能力	想定成魚生産量 約 1,000 トン
稼働開始	2026 年 10 月 1 日

3. 今後の見通し

本養殖場で育成した魚は、2027 年 6 月期の水揚げに寄与する見込みです。

当社グループは、今後も「中期経営目標 2030」の達成に向け、国内における中間養殖能力の拡大を着実に推進してまいります。

以上